

平成 26 年度 第 1 回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

平成 27 年 1 月 23 日調製

1 日 時	平成 26 年 1 2 月 2 4 日 (水) 午後 1 時 3 0 分開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 3 階音楽室兼集会室
3 出席委員	小林、山田、田部、吉澤、中川、渋谷、藤田、佐藤、久保田の各委員
4 欠席委員	柄澤、皆川、関崎の各委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	渡辺商工課長、五十嵐商工課主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	三条新聞社
9 議事内容	(1) 正副会長の選任について (2) 平成 26 年度事業計画及び活動状況について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
佐藤館長	新潟県労働者福祉協議会は勤労者福祉、生活者福祉の事業を重点に事業を行っていますが、4 月から三条市の指導を受けながらソレイユの管理運営にあたらせてもらっています。これまで指定管理というものは経験がなかった中でより地域の皆様により身近に感じてもらえるようにこの間当たってきたわけですが、施設運営に経験豊富な佐藤事務長と引き続き職員として勤めてもらっている諸橋主任、それから新卒の金子職員総勢 3 名で事務にあたっています。運営については審議会で審議いただくものと理解していますので、忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。
各委員 事務局	名簿順に自己紹介 事務局職員紹介
渡辺商工課長	本日は道足の悪い中、また、クリスマスイブにもかかわりませずお集まりいただきましてありがとうございます。運営審議会ですが例年 6 月から 7 月に当該年度の事業計画を作って、年明けぐらいに翌年度の予算とか次年度の取り組み方針を確認していくという会になっております。先ほどもお話がありましたように 4 月から指定管理になっておりますので、直営のときよりも今回の指定管理のほうがいぶ良くなったのではないかということも併せて、後ほど数値的な面からも紹介があるのかなと思っております。開催時期が遅れましたが、今年度の事業計画とこれまでの取り組みを中心にお話をさせていただき、審議していただくということをお願いしたいと思います。  蛇足ですが、國定市長が 3 期目の舵取りをされたということで、現在、三条市の 8 年間の総合計画をいま作っております。市議会からも審議していただく

	<p>わけですが、三条市もご多分に漏れず人口減少社会に直面しているわけです。</p> <p>そんな中で、ソレイユが若者たちの集いの場、いこいの場、学び合う場として果たす役割がますます大きくなっていくのではないかと、このソレイユがどういう形で機能していったらいいか、若い方たちが転出しないで残ってくれる、あるいは転入してくれるという形で三条市にいてくれるような拠点になってくれればいいのかなと考えております。そんな中で皆様方からもアイデアを出していただいてソレイユがますます盛り上がっていくように皆様方からご指導、ご鞭撻をいただければありがたいと思っておりますので、本日はよろしくお願ひします。</p>
商工課五十嵐主任	<p>商工課の五十嵐と申します。市役所側のソレイユの窓口、担当ということになります。4月から指定管理ということで全面的に指定管理の方をお願いというわけではなくて、市役所と手を携えて、ことあるごとにご相談させていただいている状況ですので、今後も皆様方と一緒によりよいソレイユ事業ができるように頑張っていきたいと思ひます。</p>
佐藤事務長	<p>議題（1）の正副会長の互選についてお諮りします。</p> <p>特に意見がないようですので、事務局に一任されたと理解し、ご推薦申し上げます。</p> <p>会長には三条工業会の小林委員をお願いしたいと思ひます。</p> <p>（承認の拍手）</p>
小林会長	<p>申し上げたとおり今日、初ですし、他に3人の方が初めてということもあって、むしろこの会はあまりここソレイユのことを知らない人間が好き勝手に言ったほうがいいのかなと思ひますので、忌憚のないご意見を引っ張り出せるように進めていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> <p>次に副会長の選任ということですが、たぶん意見は出ないと思ひますので、事務局で腹案はありますか。</p>
佐藤事務長	<p>それでは、副会長に三条地区勤労青少年福祉推進者連絡協議会から藤田委員を推薦したいと思ひます。</p> <p>（拍手）</p>
藤田副会長	<p>突然指名されまして何もわかりませんが、会長のもと一生懸命頑張りたいと思ひます。</p>
小林会長	<p>正副会長が選任されたということで、議題の2番に移ります。事務局、説明をお願いします。</p>
佐藤事務長	<p>議題（2）平成26年度事業計画及び実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料により説明</li> <li>・事業計画の追加（初心者硬式テニス教室開催要項について説明）</li> </ul>

小林会長	いろいろ範囲が広いわけですが、一人ひとりご意見をうかがっていきたくと思います。
田部委員	登録者数から講座の回数なり、確かに実績としての数値は指標として重要なポイントとして捉えられているわけですが、そもそも全体の計画の中でこの数字をどう評価するのか、また、よかったところ、足りなかったところなど数字に表れない効果など事業全体の中で、どう見たらいいのか、お聞かせください。
佐藤事務長	<p>おっしゃる通り、数値的に多い少ないよりも、講座などに来ていらっしゃる方がいかに充実した時間を送られているか、また、3番目の方針にありますように、ただ講座をするだけではなく、交流の機会ということも大きな目標となっています。そんな中で、今回、例えばバーベキューとかソレイユ祭などでなるべくいろんな人を引っ張り出してみんなで運営していく、皆で交流を深める機会ということを基本にやってきました。</p> <p>ついでで恐縮ですが、実は今月のホーム運営協力委員会でソレイユ祭の検証を行いました。準備に多くの青年が集まって予定よりも早く終わってよかったという感想や、ソレイユをもっとアピールする方法はないのかなど課題もありましたので、機会あるごとに話をしながら進めていきたいと考えています。</p>
中川委員	今回アンケート調査をされて、回収件数も3百七十数件ということで、調査結果がまだここに出ていないので何とも言えないと思いますが、アンケート結果は重視しなければならないと思います。そこでアンケートの内容ですが、資料の7, 8ページにある重点目標の三本の柱があるわけですが、アンケートの作り方というのは、どれを中心に捉えて行ったのかお聞かせください。
佐藤事務長	<p>今回のアンケートは、来年度の講座、サロン、サークルなど、どういったものがあれば参加したいかということを中心に行いました。</p> <p>活動方針にありますように、青少年の居場所づくりの充実、若者同士の出会い・交流機会の提供ということを中心にしながら今やっている講座を含めて、例示をして、また、そのほかに希望の講座があれば記述する方式のアンケートです。项目的には多くない形になっております。</p>
中川委員	昨年から見ますとそれほど変化はないなあと感じておりましたが、そのアンケート結果で目新しい講座などありましたか。まだ、集計結果が出ていないということもありますので、感触でけっこうですが。
佐藤事務長	ほんとに感触になりますが、書道の希望がけっこうありました。今現在は、筆ペンがありますが、本格的な書道がないので需要があるのかなと思いました。その他では、テニスもありました。そんなところが上位を占めているのかと思います。
小林会長	次回の配布資料にはアンケート集計結果を載せるんですよ。皆さんそんなところも興味があると思いますので。

佐藤事務長	そうです。そのつもりであります。
渋谷委員	ソレイユ自体認知度が低いという課題がある中で、数字を見ていると 35 歳未満と 35 歳以上がだいたい同じくらいで三条市として考えるところの勤労青少年の認知がまだまだということで、Facebook も始められたということですが、私も見ましたが「いいね」の参加が 40 人弱と 35 歳未満の若者にはまだまだ届いてないというのが率直な意見です。そういう面で啓蒙をいろいろされているようですが、LINE というのも一つの手としてある。あるいはマルシェで広報するなど認知度をあげる手法の部分でまだあるのかなと思う。 また、実際ホームページのアクセス数はどれくらいありますか。
佐藤事務長	申し訳ありませんが数値的にはわかりません。
渋谷委員	今後は、若者が使っている情報媒体も考えながら戦略的に広報していくことも必要じゃないかなと思います。
小林会長	認知というのは大変だと思う。アンケートも認知している人にしか取れてないでしょうからね。
久保田委員	ここに参加される方はまだいい方で、資料の中にあります若者自立支援の中で、ニートや引きこもりの人たちは人と接するのが苦手でなかなか出て来れないのが現状としてあると思うが、そういった人も出やすくするにはどういうものがいいか、そういうところにももう少し取り組んでいただければありがたいと思う。なかなか難しい面があると思うが、例えば三条市で引きこもりがちな人はどれくらいいるのか。また、そういった人がここに来て一人で本を読んでいるとかの空間も必要じゃないかと思う。
小林会長	三条市のニート率などの数値はあるのか。
佐藤事務長	今日は三条地域若者サポートステーションの職員は出席されていませんが、年 1 回出席してもらって、この場でサポステ事業の詳しい説明があると思いますが、私の方でつかんでいるのは、サポステに電話をかけてくる件数は 11 月末現在で 1,500 件を超えています。 サポステでは、電話から始まってここに来て面談して、徐々に人とかわりながら職業支援だったり喫茶を手伝うなどのジョブトレだったりして、対人関係の改善というか訓練をしながら職業に就いていくことをやっていますので、そこと連携取りながらやっていきたいと思います。
佐藤委員	アンケートが未集計ということの中で、書道講座の希望が多かったという話がありましたが、指定管理になる以前の話ですが、書道講座の講師をやってくれないかと私のところに依頼がありましたが、その都度丁重にお断りをしている。というのは、小中学校で書道を経験して大人になって入ってこられる方がほとんどですが、なかなか定着しづらい面がありまして、知り合いの講師から聞いた話ですが、受講生が当日誰も来なくて先生が一人でポツンと待っている

	<p>ということが間々あったというので、移動するのもきつい 5、60 代の人よりも最近若くてマスコミでも活躍されている女性の先生もいらっしゃいますので、そういう花のある方から務めてもらうのも選択肢の一つではないか。また、年齢差のあまりない先生のほうが若い人が集まりやすいのかなと思う。</p>
小林会長	<p>講師の心当たりはあるんですか。</p>
佐藤事務長	<p>講師の心当たりはないが、今話を参考にさせていただき、情報をお聞かせいただきながら当たりたいと思っています。</p>
吉澤委員	<p>人口減少の中で認知という点では広がり難しいかもしれませんが、サポステと連携を取っている中で、就労は難しいと感じたケースには案内していますが、まだまだ知れ渡っていないという感触を受けます。今後も機会があるたびに周知を図っていただければと思う。</p>
小林会長	<p>周知についてはどうなんですか。</p>
佐藤事務長	<p>先ほどの渋谷委員のご指摘にもありましたように、Facebook だけでなく LINE という方法もあるよとご意見がありましたので、その手法は見えていないのですが研究しながらやってみたいと思います。</p> <p>また、ことあるごとに勤労青少年ホームはこんなことをやっているという周知していきたいと思ったり、成人式にもインパクトのある形で周知ビラを配布したいと思っております。メディアにも積極的に情報を出していきたい。</p>
山田委員	<p>周知の点ですが、利用されている方からも意見を聴取するとか、その方からも地道に一般の方に周知してもらうという方策を考えてみてはどうか。</p>
小林会長	<p>アンケートの中にどうしたら知ってもらえるでしょうかみたいな項目は取られていますか。</p>
佐藤事務長	<p>今回はその部分については触れておりません。来年度の講座開設を中心に希望を取りました。というのは、いろんな項目が入ればいいんでしょうけど、あまり設問数が多いと例えばWEB上の場合、面倒くさくなって途中でやめたり回収率が低くなったりすることを懸念して、設問数を絞って実施しております。</p> <p>また、今ほどのご意見にもありましたように、利用者の口コミとかで友達を引っ張ってきたりとか、利用者の持っているネットワークを利用しながら周知に努めてまいりたい。</p>
小林会長	<p>ここに絡んだからと言って集客しなきゃいけないという変なプレッシャーがあると来られている方にはうっとうしいでしょうからね。そのさじ加減が難しいところですね。</p>
藤田副会長	<p>企業側としての意見ですが、青少年という括りの中で今回は組合の青年・婦人部を通して回収した。会社の現状としては、稼働日が少なくなっております。土日祝日は休みということで、どの企業もそうだと思いますが、勤務日に目一杯働いてもらって土日はしっかり休ませる。そんな中で社員は仕事が終われば</p>

	<p>すぐに帰りたいというイメージがある。そこで、会社の中でコミュニケーションを向上する方法として、各職場単位で忘年会や新年会などに補助金を出してコミュニケーションを行って、若者と交流する機会をもっている。</p> <p>飲み会してもイベントやっても出てこない、自分のことが精一杯で余暇を過ごせないという若者が増えているような気がする。その人たちをいかにこちらに目を向けさせるかというのは厳しい状況かも知れないが、そんな中でももし多目的ホールの空き状況などがホームページ上で瞬時に分かって、仲間と遊びたいとか利用したいときにそういう態勢がとれるのであれば、仲間単位で動くときに便利になり利用が増えるのではないかと思う。ハード面、ソフト面をもう少し整備したらと思う。</p>
小林会長	<p>ひとつお見えてまして、教室みたいなのは参加者が少ないなあと問題意識がありながらも、部屋別利用状況を見ますと、すごくいっぱい借りられているんだなとびっくりしまして、今僕らがいるこの部屋なんかは、266件でおそらく毎日誰かが借りているような状態であるほどと思うが、一方では登録者が500人で年間1800万円ということは、一人当たり3万数千円かけているというのは果たしてどうなのかなあと、ソレイユ自体に否定的な考えをもっていて、公民館にしたらいんじゃないかと。とは言え、このポジションにいるからには何かとプラスになるような意見なり会議なりできたらなあと思っています。</p> <p>でも、ソレイユの話をこのメンバーでやるという違和感てのはすごくあって、しかしソレイユに来ている人たちに意見を聞いてもそれはそれでどうなのかと思うので、全くソレイユを知らない人たちに意見を聴く場を設定して何かしらヒントがあればと思う。</p> <p>この部屋を借りたい場合は、一時間600円で安いので土日借りたいと思ってももういっぱい借りられないのかなと感じた。</p>
佐藤事務長	<p>まず部屋別利用状況ですが、266件というのは、まる一日単位ではなく例えば2時間とか3時間という利用の仕方ですので、一日数件あるときもありますので、空いている時間は結構あります。どうぞ借りてください。</p> <p>表にありますように、この部屋に限って言えば、昨年268件に対し今現在ですでに昨年1年間と同じということは、相当認知されてきているなあという印象を持っています。</p>
小林会長	<p>その空き状況はネットで見られるんですよね。</p>
五十嵐主任	<p>三条市の公共予約システムで確認できます。</p>
小林会長	<p>そこに行けないのです。ソレイユのホームページに貼り付けてないから。</p> <p>ソレイユ三条と検索すると三条市のものが一番出てくる。ソレイユのホームページにたどり着くとひまわりの写真とかが出てきて、若者たちの楽しそうな写真をバンバン出せばいいですよ。いろいろと改善の余地はありそうだ。</p>

藤田副会長	ホームページに予約システムがダイレクトで見られるといい。
佐藤事務長	研究させてください。
小林会長	いろいろなご意見ありがとうございました。 次に議題その他ですが、事務局から何かありますか。
佐藤事務長	特に案件ではないのですが、次回の開催予定を3月にしたいと思いますので、時期になりましたら調整させていただきます。
佐藤館長	<p>藤田副会長さんからもありましたように、仕事が終わって35歳未満という年代が集いにくくなってきている。</p> <p>自分は三条の上町にあった時に利用していたが、その頃は仕事のオンとオフがはっきりしていた。だから仲間で集まりやすかった。</p> <p>今はおっしゃられたように、土日ですとか変則勤務、シフト勤務などの三条の事情が多い。当然、20代30代の皆さんというのはものすごい業務負荷がある世代だ。一方この勤労青少年ホームがどの市町村にもあって活発にやっているというのではなく、どんどん少なくなっている中で、三条にあるという意味があるのだろうと思う。中小企業やいろいろな事業所があって従来そこで福利厚生ができなかったという名残もあるだろうし、事務長もいろいろアイデアを凝らして一生懸命にやってもらっている。ホームページのリンクだとか、いろいろな意見をいただきましたので、このソレイユを活発に利用していただくためにも、若い人たちに体験してもらいたい足を運んでもらいたい、そういう意味でも事業所の皆さんや会議所さんからも私どもが作っているホームだより等を有効に使っていただき周知をお願いしたいと思います。</p> <p>事業所の皆さんからはノー残業デーなど、定時で上がれるような日を工夫していただいて集まれる日を作っていただければなあと思っておる次第です。</p>
小林会長	他に何もなければ会を閉じたいと思います。 大変お疲れさまでした。
	閉会 午後2時50分